

2004年6月17日

精密化学部門の再編について

ー住化ファインケムの吸収合併による新体制のスタートー

住友化学はかねてお知らせの通り、2004年7月1日に住化ファインケム株式会社を吸収合併いたしますが、この機に精密化学部門の組織を再編し、新中期経営計画に基づいた「高度な有機合成技術を基盤とした Synthetic Specialty Chemicals」へのシフトを強力に推進してまいります。

(1) 医薬化学品事業を精密化学部門の中核事業として再編

7月1日付で、住友化学と住化ファインケムの医薬化学品事業を再編し、医薬原体事業部と医薬中間体事業部を設置いたします。これら2事業部は医薬中間体の受託開発・生産から、独自製法に基づく医薬原体の製造・販売までをカバーし、国内外の製薬メーカーのニーズにきめ細かく応えながら、これまで両社が培ってきた高い技術力と高度な品質保証体制の相乗効果を発揮し、精密化学部門の中核事業として医薬化学品事業を強化してまいります。

(2) 既存事業分野における再編

また同日付で機能材事業部を廃止し、同事業部の事業を化成品事業部に統合いたします。

精密化学部門では、高分子凝集剤事業を本年3月末に三井化学アクアポリマー㈱に譲渡し、紙用加工樹脂事業を本年末に田岡化学工業㈱に移管するなど、経営資源の再配置を進めてまいりました。これら一連の事業再編の結果、既存組織を効率化し改組することとしたものです。

なお、住化ファインケムの樹脂着色剤、有機ゴム薬品事業は、グループ会社である住化ケムテックス㈱が継承いたしますが、この機に、これまで化成品事業部で取り扱っていましたが一部の有機ゴム薬品、酸化防止剤、紫外線吸収剤事業の営業権を同社が譲り受け、これらの製品からなる化成品事業を一つの柱として育成してまいります。

(3) 将来にむけた経営資源の投入

精密化学品研究所は住化ファインケムとの合併により100人を超える規模の研究施設となります。両社のシナジー効果を発揮し既存研究の一層の高度化・効率化を図りつつ、得意とする有機合成・精密合成技術を活用し、エネルギー分野など将来の精密化学部門の柱となる新規事業の探索・育成に資源を投入してまいります。一方、精密化学部門の品質保証専門部署として「精密化学品品質保証室」を新設いたします。より高機能な製品を提供していくために需要家の満足を得る高度な品質保証体制を確立するために設置するものです。

また住化ファインケムの歌島（大阪市）、岡山、岐阜の各工場は住友化学大阪工場に編入し、効率的な工場運営を目指すとともに、各工場間の柔軟な連繋により機動力を強化し、製品の安定供給はもちろん、新製品の開発・育成も担うファインケミカルの中核工場として運営してまいります。

以上